

[文]学部1年男子の 合格体験記

自己紹介

文学部所属、愛知県出身です。一年生であるため、専攻はまだ決まっていません。一般入試で入学しました。

東北大を志望した時期とその理由

志望した時期：センター試験後

理由：センター試験で思うように点が取れず、二次試験の配点が比較的高い東北大学を選択しました。愛知県から遠いということで迷いもありましたが、心理学を学べる大学は数が少ないため、仙台に来る決断をしました。また、留学に力を入れているということも理由の一つでした。

受験期の勉強方法

とにかく問題を解きました。間違えた問題は繰り返し解きました。特に数学は解法を覚えてしまうまでやり直しました。国語の記述問題や、英作文など自分で採点することが難しい類の問題は、間違えて採点してしまうことが怖かったので、先生に採点をお願いしていました。わからない点や理解できない点ができたら、すぐに先生に質問しました。先生に質問できないときはその教科が得意な友達に質問しました。その友達とは互いに質問することで、説明する側も理解が深まったと思います。他人に説明することは、自分が理解していないとできないことなので、説明することで自分の理解を確認できました。

モチベーションの保ち方

赤本の巻頭についている、合格者の声や、大学生の生活についての欄を読んでいました。読んでいて、おもしろかったですし、楽しそうな東北大生の生活がイメージでき、モチベーションを保つことができました。過去問を解く際の息抜きにオススメです。

受験直前～当日

私は前期日程の前日に仙台に新幹線で来ました。到着した日に二次試験の試験会場を実際に訪れ、大学への行き方、建物の場所まで確認してから、宿泊先のホテルに行きました。二次試験当日、私の周りの席の人は東北出身の人が多く（東北大学なので当たり前といえば当たり前ですが）、馴染みのない方言に囲まれて疎外感を感じたことを覚えています。特に前の席の人と後ろの席の人が自分を挟んで会話し始めたときはすごく嫌でした。試験中は当然、誰も話さないのに気になりませんでした...

大学に入学して…

【勉強】

文学部は1年生の成績が2年生以降の専攻に大きくかわります。特に英語と第二外国語（私の場合は中国語です。）は力を入れて勉強しています。また、現在は幅広い分野から自分で授業を選べるので、興味がある講義をとることができ、授業自体も面白いと感じます。時には休んでしまいたいと思うこともありますが、授業料がもったいないと自分に言い聞かせて、頑張ってお出席しています。

【一人暮らし】

私は大学生になって、一人暮らしを始めました。できるだけ学食で食事するようにしているので、自炊することはそれほど多くありません。今では、自分で洗濯することには慣れましたが、冬になると、洗濯物が乾かなくて困っています。仕方なく室内に干すと部屋が狭くなり、邪魔になります。また実家にいたときは気にしていなかった電気代・ガス代・水道代が、自分で払うとなると、気になるようになり、生活のムダを意識するようになりました。

受験生へのメッセージ

楽しい大学生活を送れるよう、後悔のない受験にしてください。

